

平成29年度 上市高等学校アクションプラン 年度末評価 - 2 -	
① 重点項目	生活指導
② 重点課題	基本的な生活習慣の確立 規範意識、けじめ意識の育成
③ 現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「遅刻をしない」「身なりを正す」「マナーに気をつけ、みんなで元気にあいさつ」を指導の重点として規律と秩序ある校風作りを進めている。</li> <li>・平成28年度の生徒1人あたりの遅刻平均回数は2.2回であり、ここ3年間は横ばいの傾向にある(生徒1人あたりの遅刻平均回数H27年度2.4回 H26年度2.2回)</li> <li>・スマートフォンの使用違反件数は、年間延べ数でH28年度213人、H27年度135件、H26年度240件と、校内での使用についてルーズな状況にある。一方で、ネットパトロールでの指導は激減し、良い傾向にある(H27年度103件H28年度62件H29年度3月現在16件)</li> </ul>
④ 達成目標	① 1人あたりの年間遅刻回数の減少
	② スマートフォンの使用ルール違反者の減少、みだしなみの向上
	前年比20%の減少
	前年比20%の減少
⑤ 方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻の多い生徒に対し、担任、学年、指導部が連携して問題状況の把握と問題解決に努める。また、累積回数により特別指導を実施する。</li> <li>・進路指導と絡めて、社会人としての在り方を考えることにより、生徒自身の自覚を促す。</li> <li>・全教職員、生徒の共通理解を図りながら、統一した指導を行う。</li> <li>・違反した生徒はその都度家庭に連絡し、学校の指導方針を理解してもらい協力を得る。違反累積回数により、特別指導を実施する。</li> <li>・ネットトラブルに関する最新の情報を生徒、保護者に提供し、ネット使用に関する意識の向上を図る。</li> </ul>
⑥ 達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度の遅刻総数は2/27現在で1288回、生徒1人あたりの平均回数は2.7回と増加状態である。28年度の同時期より200回ほど増加している。冬季の大雪も影響しているが、そもそもの回数も多く、根本的な問題解決には至っていない。</li> <li>・平成29年度3学期末までの段階で、スマートフォンの使用違反延べ数は303件で、昨年より90件増加しているが、違反を見逃さない体制が増加数に繋がったとも考えられる。ネットパトロール指導は激減した。</li> </ul>
⑦ 具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝、玄関前指導として、挨拶や服装指導などの声かけを教員8名程度で行っている。遅刻に関しては、すべり込み遅刻をある程度防ぐことができている。</li> <li>・交通安全教室、たばこ・薬物の害、性教育、着こなし教室、スマートフォン安全教室などの講話を通して規範意識を高めるように指導した。特にスマートフォン安全教室(ネットトラブル防止)については、県外の有識者に講師を依頼し、本校の生徒の実態に即した講話を実施した。</li> <li>・校内でのスマートフォンの使用違反をなくすため、7月と12月の保護者会において校内での使用ルールを守ってもらえるように、啓発プリントを配付し、担任から保護者一人ひとりに説明した。保護者の理解を得るとともに、3学期から指導内容を強化した。</li> </ul>
⑧ 評 価	B
	C
⑨ 学校評議員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻は、それだけでその人の評価となる。時間を守ることの大切さを知らせる。生徒会とのタイアップを図り、遅刻防止に取り組んではどうか。</li> <li>・遅刻の平均回数を示すのはあまり意味が無い。5回は何人、10回は何人。といった表示にしてはどうか。</li> <li>・企業も学校も「人」である。すぐには変わらない。社風や校風というものがある。学校の実態に応じた指導を継続していくことが大切である。</li> <li>・家庭でスマホを見るのが減った。指導を続けてほしい。保護者の理解やしっかり伝わることで効果につながる。</li> <li>・あれもこれもでは無く、1つの事をしっかりやり抜くことから全体的な底上げができると思う。</li> </ul>
⑩ 次年度以降に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服装違反、スマートフォンの使用違反に対する指導強化を継続させる。</li> <li>・将来の社会生活を見据えて、基本的な生活習慣の確立やルール・マナーを守る姿勢、我慢と思いやりの心を育てる指導。</li> <li>・遅刻常習などの原因を解明し、保護者の理解と協力を得て根本的な問題解決を図る指導。</li> </ul>

(評価基準 A: 達成した B: ほぼ達成した C: 現状のまま D: 後退した)